



議会だより

たむら

2010
第21号

平成22年4月30日発行



▲堂山王子神社「浦安の舞」(船引町)

もくじ ~今回の内容~

3月定例会	2～3ページ
第1回臨時会等	4ページ
6月定例会日程(案)等	5ページ
代表質問	6ページ
一般質問等	8～10ページ
各委員会活動報告	11～13ページ

3月定例会

平成22年3月定例会が2月18日から3月8日までの19日間にわたって開かれました。富塚市長より条例の一部改正、平成21年度各会計補正予算、平成22年度各会計予算などの議案が提出され、すべて原案のとおり可決しました。平成22年度各会計予算などまた、議員発議による意見書提出議案を原案のとおり可決しました。



平成22年度予算

景気後退がもたらした雇用情勢の悪化などから税収が落ち込み、一般財源の確保は引き続き厳しい状況が見込まれます。

市債の元利金償還や特別会計への繰入金、扶助費の増加等により、これまで以上に厳しい財政状況が続くものと予測されます。

このような厳しい財政状況を十分認識し、引き続き従来の歳出改革路線を堅持・強化する考え方のもとで編成された予算となっています。

一方、加速する少子高齢化や高度情報化などの社会経済状況の変化と多様化・高度化する住民ニーズに対応するため、道路網の整備、学校教育施設や学校給食センター等の整備を進め、また、幼稚園、保育所の無料化を引き続き進める一方、子ども手当てに対応する経費、介護者手当ての支給範囲と支給額の拡大など、少子化対策事業や介護福祉事業の充実を図ることにしています。

一般会計予算

歳出については、本市総合計画の基本構想に掲げた基本的な政策である、6つの重点施策の推進を引き続き図りながら、予算総額20億8千万円で、平成21年度当初予算と比べ8億円減（3.8%減）となっています。

主な要因は、緑小学校改築事業や大越こども園建設事業の完成、および運動公園内の体育館整備事業などによる減額です。

■一般会計予算

平成22年度当初予算額	平成21年度当初予算額と比較しての増減
201億8,000万円	8億円減

平成22年度の合併特例債は18億7,490万円

88億7,560万円	$\left(\begin{array}{l} 17\sim 22\text{年度起債額合計} \\ \text{起債可能な合併特例債額} \end{array} \right)$
197億1,250万円	

特別会計予算等

11特別会計と水道事業会計の予算額については、左表のとおりです。

■特別会計及び水道事業会計

	会計名称	平成22年度当初予算額	平成21年度当初予算額と比較しての増減
特別会計	国民健康保険	54億600万円	3億2,530万円増
	老人保健	710万円	920万円減
	介護保険	32億1,740万円	2億1,930万円増
	後期高齢者医療	3億4,330万円	4,850万円減
	滝根町観光事業	6億3,330万円	1,030万円増
	農業集落排水事業	2,560万円	120万円減
	宅地造成事業	1億4,220万円	30万円減
	公共下水道事業	11億9,520万円	870万円減
	授産場事業	6,170万円	1,350万円減
	診療所事業	3億1,370万円	30万円減
	田村地方介護認定審査会	2,380万円	90万円減
水道事業会計		11億3,938万円	2億4,046万1千円減

定例会で審議された議案

●議員発議

- ・福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について
(提出者 箭内仁一議員)
- ・社会的セーフティネットの拡充に関する意見書の提出について
(提出者 佐藤 忠議員)
- ・多重債務者対策の推進を求める意見書の提出について
(提出者 佐藤 忠議員)

◆条例の一部改正

- ・表彰条例、職員の給与に関する条例、体育施設条例、長寿者褒賞条例、重度心身障害者医療費の給付に関する条例(以上略称で記載)

◆補正予算

- ・平成21年度田村市一般会計補正予算(第6・7号)特別会計および水道事業会計補正予算

◆当初予算

- ・平成22年度田村市一般会計予算、特別会計予算、水道事業会計予算

◆その他の議案

- ・堀田辺地に係る総合整備計画の策定について
- ・市道路線の廃止、認定、変更について

すべて、原案のとおり可決

体育施設条例の一部を改正

平成22年6月完成予定の「田村市総合体育館」を体育施設として追加するための改正です。

長寿者褒賞条例の一部を改正

褒賞の額を県内市町村との均衡を図るとともに、高齢者福祉サービスを幅広く提供するため、現行の「100万円」から「30万円」に改正するものです。

重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部を改正

身体障害者福祉法施行令および同施行規則の一部改正に伴い、重度心身障害者医療費の給付対象者に「肝臓の機能障害を有する者」を追加するとともに、精神障害者の受給要件を緩和するための改正です。

平成21年度補正予算

平成21年度田村市一般会計、各特別会計および水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決しました。
(詳細は左表のとおり)

■一般会計補正予算

補正額 (補正後予算総額)	補正の主な理由
2億6,133万円増 (225億9,234万5千円)	歳入…市税、国庫支出金、県支出金、繰入金、市債の増減 など 歳出…地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業の追加、各事業の確定等による減額 など

■特別会計及び水道事業会計補正予算

会計名称	補正額(補正後予算総額)
国民健康保険	2,572万9千円減(54億4,558万7千円)
老人保健	1,098万5千円増(3,233万7千円)
介護保険	9,762万1千円増(31億7,318万7千円)
後期高齢者医療	7,885万4千円減(3億1,732万1千円)
滝根町観光事業	800万円減(7億6,524万9千円)
農業集落排水事業	(総額は変更せず、歳出区分の変更)
宅地造成事業	20万5千円減(1億4,229万5千円)
公共下水道事業	258万6千円減(12億4,088万4千円)
授産場事業	792万5千円減(7,272万7千円)
診療所事業	340万6千円減(3億1,348万5千円)
水道事業会計	3,038万9千円減(11億8,709万1千円)

請願・陳情

3月定例会において、請願3件が審議され、3件を採択しました。
また、その請願に基づく意見書を議決し政府関係機関などへ提出しました。

請願

- 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について 【採 択】
 請願者 日本労働組合総連合会 福島県連合会田村地区連合会
 議長 大和田勝司
 紹介議員 村越崇行・樽井義忠
- 社会的セーフティネットの拡充に関する意見書の提出について 【採 択】
 請願者 日本労働組合総連合会 福島県連合会田村地区連合会
 議長 大和田勝司
 紹介議員 村越崇行・樽井義忠
- 多重債務者対策の推進を求める意見書の提出について 【採 択】
 請願者 日本労働組合総連合会 福島県連合会田村地区連合会
 議長 大和田勝司 ほか1名
 紹介議員 村越崇行・樽井義忠

第1回臨時会

平成22年第1回臨時会が1月25日に開かれました。
平成21年度一般会計補正予算(第5号)や財産の取得の議案が提出され、
すべて原案のとおり可決しました。

財産の取得を議決

1月15日に入札を行った財産の取得について、議会の議決に付すべき契約(予定価格2千万円以上)の議案が提出され、原案のとおり可決しました。

▼情報系パソコン(シンククライアントシステム)の取得
 取得動産 シンククライアントシステム一式

取得方法

指名競争入札

取得金額

5,964万円

契約業者

リコー東北株式会社
 福島支社 支社長 山本哲夫

▼小・中学校教師用パソコン
 取得動産 ノートパソコン 270台

取得方法

指名競争入札

取得金額

3,129万円

契約業者

有限会社 ホンダ
 代表取締役 本田隆之

▼小・中学校教育用パソコン
 取得動産 デスクトップパソコン 388台

取得方法

指名競争入札

取得金額

8,154万3千円

契約業者

有限会社 サトウ事務機器
 代表取締役 佐藤重蔵

※シンククライアントとは

端末には、ハードディスクを持たず、サーバーに接続するための最小限のネットワーク機能とマウスやディスプレイの入出力機能のみを持った低価格な専用端末を配備し、ソフトやデータなどの資源はサーバーで一元管理すること。

宗像公一議員に対する議員辞職勧告決議

半谷理孝議員から「新庁舎建設検討特別委員会」などでの宗像公一議員の言動、さらには虚偽報告等に本市議会の品位と規律維持を著しく脅かしているとの理由から議員辞職勧告決議案の提出があり、起立採決の結果、賛成者多数により可決しました。

臨時会で審議された主な議案

●議員発議

- ・宗像公一議員に対する議員辞職勧告決議案について
 (提出者 半谷理孝議員)

◆補正予算

- ・平成21年度田村市一般会計補正予算(第5号)

◆その他の議案

- ・財産の取得について

※地方自治法には、議員辞職決議に対して法律上の効果を付与した規定がないため、この議員辞職決議によってその職を失うものではありません。

代表質問

次ページからは、3月定例会において行われた代表質問を掲載します。
2人会派2人の議員により市政方針などに対する質問が行われました。

6月定例会が開催されます

6月定例会は下記の日程で開催される予定です。議会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。

なお、正式には定例会初日に決定されるため、変更になることもあります。

くわしくは議会事務局までお問い合わせください。

田村市議会事務局

TEL 77-2261

FAX 77-2393



3月定例会の会期中、のべ47名のかたが傍聴されました。

6月定例会の開催日程（予定）

6月10日（木）	本会議	初日（招集日） ・会期の決定 ・提案理由の説明 等	議場
6月11日（金）	休会	（議案調査）	
6月12日（土）	休会		
6月13日（日）	休会		
6月14日（月）	休会	（議案調査）	
6月15日（火）	本会議	代表質問	議場
6月16日（水）	本会議	一般質問	議場
6月17日（木）	本会議	一般質問	議場
6月18日（金）	本会議	総括質疑 議案の常任委員会付託	議場
	委員会	各常任委員会審査	各委員会室
6月19日（土）	休会		
6月20日（日）	休会		
6月21日（月）	委員会	予算常任委員会審査	委員会室
6月22日（火）	委員会	予算常任委員会審査	委員会室
6月23日（水）	休会	事務整理	
6月24日（木）	本会議	最終日 ・各常任委員会審査結果報告 ・議案等の質疑、討論、採決	議場

真政会
先崎温容議員

新年度予算編成および今後の市政運営は

質問

現在200億円の一般会計が、交付税の段階減額措置を経た平成32年度には、約130億まで縮小されることも想定され、今、まさに将来の本市を築く重要な時期であると考えられる。合併後の5年間を徹底検証し、議会は当然のこと市長はじめ全職員が一丸となることが最大の責務であるとの見解のもと質問を行います。

回答

⑥教育部…学校の適正規模、適正配置について、合併後の実績と今後の展望は。

①現在の行政組織機構をより良いものとなるよう努めます。
②親切丁寧な窓口サービスの対応に努めます。

③中学3年生までの医療費助成、妊婦健康診査、特定不妊治療助成などを継続し新規も含め今後とも福祉の充実を目指します。
④国県補助事業も視野に入れ、農林業や産業の活性化を図ります。

⑤長期的な視点で社会資本整備を考えながら、下水道においても負担軽減のための検討を重ねていきます。

⑥平成22年度までに市内33校が25小中学校に統廃合され、このほか現在、滝根地区、牧野・下大越地区においても教育を考えた検討委員会が発足しています。

その他に
・事務事業評価システムの導入について
質問を行いました。

政友会
橋本文雄議員

あぶくまの人・郷・夢を育むまち ひとつ 高原本都市構想は

質問

市長として、5年後のビジョンは。

回答

市が誕生してから、これまでの間、市政運営に臨む私の理念は、市民すべてが健康で幸せに暮らるよう行政サービスを等しく提供することで、そのために必要と思われる施策や事務事業を果敢に実行してきました。

まちづくりはまさに人づくりであるという信念から、新たな視点を加味した子育てしやすい環境づくりに取り組み、市民が安心して暮らせるまちづくりのため、雇用環境の向上や地域経済の活性化、また地域医療の充実に向け夜間救急医療システムの確立など重要な施策を具現化するため市民の声を傾け、それを反映させながら、安全・安心な暮らしの実現に向け、本市の限らない発展の礎を築いていきます。

弱者世帯への支援は

質問

今後の老人世帯、障害者世帯、1人世帯の行政サービスは。

回答

高齢者世帯には、軽度生活援助事業などがあり、また在宅介護の支援は、介護用品給付券交付事業などがあります。

障害者世帯には、障害者の地域生活を支えるため、自宅での入浴など身体介護のほか、ホームヘルプサービスなどがあります。

1人世帯の高齢者には、寝具類等洗濯乾燥消毒サービスなどがあり、今後も多様なサービスを提供していきます。

協働による街づくりは

質問

協働による街づくりは。

回答

意見公募手続きの活用、各種計画の策定や事業段階における市民の意向を反映するためのワークショップや市民提案制度、市民の審議会への積極的登用および公募の推進等検討します。

一般質問

次ページからは、3月定例会において行われた一般質問を掲載します。5人の議員より市政に対する質問が行われました。

お知らせ

請願・陳情について

請願とは、憲法第16条に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望を述べる行為で、必ず紹介議員を要しますが誰でも提出することができます。

陳情とは、事実上の行為として議員の紹介なしで提出するものです。

○請願（陳情）書の書き方と提出方法

定例会前の議会運営委員会開催日（概ね開会日の3日前）の前日午後5時までに議会事務局へ直接持参し提出してください。

※意見書提出を求める場合は、意見書の案文を添付願います。

請願書

年 月 日

田村市議会議長

〇〇〇〇 様

請願者 住所 〇〇〇〇〇〇〇〇

氏名 〇〇〇〇〇印

紹介議員 〇〇〇〇〇（署名又は押印）

（件名） 〇〇〇〇について

請願要旨 〇〇〇・・・・

請願事項 〇〇〇・・・・

議会の情報はホームページから

田村市議会のホームページでは、議会に関する各種情報を公開しています。

定例会等の開催日程や会議録など最新の情報をご欄になることができます。



☆ホームページアドレス☆

http://www.city.tamura.lg.jp/ta_gikaijimu/ta_gikai_top.jsp

白石 治平 議員

旧田村畜産農業協同組合跡地の利活用は

質問

- ① 具体的な利活用案は。
- ② 団体等からの借用の要望は。
- ③ 効果的な利活用は。

回答

① たむら農業協同組合の畜産センターとして活用することが最善であると考えています。
② たむら農業協同組合以外には要望がありませんでした。
③ 畜産センターとして機能することで、月1回の家畜の登録検査や各種畜産関係会議等を開催することができ地域の活性化にも寄与すると思われまます。また2月15日付で、たむら農業協同組合と不動産賃貸契約を締結しました。

都路診療所の医師確保の見通しと今後の対応は

質問

医師確保ができたのか。

回答

① 県からの派遣終了に伴い、郡山市内の総合病院から週2回程度の外来応援診療と市外の医療機関に勤務する内科医師から4月から勤務の内諾を得ています。

常葉プールの改修は

質問

- ① 雨水等の流入対策は。
- ② 出入口の交通安全対策と駐車場は。
- ③ 障害者対策は。
- ④ 利用者の安全対策は。

回答

① プールを現在より1メートルかさ上げする計画で、雨水の流入は避けられると考えています。
② 市道に接して直接階段があり危険な状況ですが、プールをかさ上げすることにより、階段が不用になりました。また、管理棟などを川沿いに集約する配置計画にしたため、5台分の駐車スペースと、送迎用の車両も敷地内に進入できるように安全対策に配慮した設計にしました。
③ 専用駐車スペース1台と点字ブロックによる案内表示、また、プールに入りやすいように1コーラスにスロープを設けるなどの設計にしました。
④ 管理棟、監視員からの死角をなくしたことやプールサイドは足が滑らないように、滑りを防ぐシートなどを使用します。

財政健全運営は

質問

市民税などの自主財源確保の見通しと対策は。

回答

雇用情勢と企業業績の悪化、また在来家屋等の評価替えによる固定資産税の減収など、伸びを期待することは困難です。税収の安定的な確保に向け納税者の確かな把握と徴収率の向上を図りながら減収を極力抑えることに努めます。

農林商工業の振興は

質問

① 遊休農地解消の施策と今後の見通しは。
② 地元産材の使用実態と促進策は。
③ 農業基盤整備の事業計画と推進施策は。

回答

① 市農業振興協議会を実施主体にし、耕作放棄地再生利用緊急対策事業に取り組んでいます。今後は、関係機関等と協力し、花き・果樹等の新規作物の導入を支援しながら解消を図っていきます。
② 大越こども園などにも地元産木材を使用しており、市が発注

石井 忠治 議員

農林土木工事等の適正化は

質問

① 地元企業への発注実態と適正価格の考察は。
② 地元企業への優先発注による企業育成は。

回答

① 1月末までの入札状況は、土木工事や備品購入などで発注総数301件です。また、工事等の設計は、県が作成する標準積算基準等をもとに工種ごとに積算し適正価格に努めています。
② 公共事業の発注は切れ目のない早期発注に努めるなど、市内業者の育成と受注機会の拡大に配慮して優先的に執行しています。

その他に

・教育施設の充実強化について質問を行いました。

除雪の対応は大丈夫か

質問

- ①年々建設会社が減少している
昨今、除雪体制は十分か。
- ②重機維持のための行政支援
は。
- ③今年度の予算残は。

回答

- ①除雪作業は委託契約により執行しており豪雪の際も対応可能です。
- ②行政支援は考えていません。
- ③1千万円の予算で予算残は30万円です。

消防施設の充実

質問

- ①積載車の統一は。
- ②消防屯所の統一は。

回答

- ①小型動力ポンプ付積載車は76台あります。車両メーカーのモデルチェンジ等もあり、統一することは困難と考えています。更新は、消防団の意向を聞きながら検討します。
- ②消防団検討委員会の見直しによる改築計画を財政状況も踏まえ地域の実情に応じ検討します。

環境立国宣言は

質問

本市は自然エネルギーの宝庫であり、あぶくまの天然水、そしてあふれる緑を前面にアピールするためにも環境立国宣言をしたらどうか。

回答

全市的な取り組みを構築する必要がありますので、市内企業や市民団体、行政が一体となって小さな取り組みを地道に広めながら、地球環境の保全と環境にやさしいまちづくりなどの課題解決とあり方を検討していきます。

総合保養センターの設置は

質問

市民に憩いの場を提供する総合保養センターは。

回答

平成19年に温泉が湧出する可能性を探る調査をしました。本市観光開発基本計画の中でも温泉の開発や宿泊施設の機能充実を掲げていますので、民間資本の導入促進とその情報の積極的なPRに努めます。

企業誘致と地場産業の育成は

質問

- ①緊急雇用創出基金事業の成果は。
- ②22年度の企業誘致の取り組みは。
- ③工業団地内の空き工場数と面積は。
- ④企業誘致のセールスポイントは。
- ⑤田村産のエゴマ油の高付加価値による雇用を含めた産業育成は。

回答

- ①市では20年度に26人、21年度102人をそれぞれ雇用し、22年度にも136人の緊急雇用を計画しています。
- ②デンソー関連企業や自動車メーカーの情報収集と二次電池や太陽電池などの環境分野の企業訪問を行い、雇用効果の大きい企業誘致を推進します。
- ③牧野工業団地内に2カ所、沼ノ下工業団地内に1カ所、計11万8千㎡あります。
- ④地震や風水害の少ない点や交通利便性の高さや人材確保が容易であるなどを強くPRしていきます。
- ⑤平成11年度に第1回日本エゴマ全国サミットが開催され16年度には15haまで作付けが拡大しており、エゴマを使用した商

市の観光施策は

質問

- ①核となるあぶくま洞や風力発電を含めた市内観光ルート作成は。
- ②移住者の三都物語イルミネーション事業は観光面としてどうとらえているか。

回答

- ①風力発電等の新たな観光資源の整備状況を見極めルート化を検討していきます。
 - ②市民が楽しみに待つ年末年始のイベントとして定着化しつつあります。観光資源としての活用も期待できますが、それ以上にそこに住む人々が心を一つにしたいという願いが地域づくりに大きな意味があると思っています。
- 各地で行われているイルミネーション事業が、息の長い事業として継続されることを期待しています。

給与水準と勤務条件は

質問

①市職員の給与水準は県内で最も低く、郡内の町村より低い水準にあるが、今後の改善策は。
②職員の勤務条件の改善策は。

回答

①市職員のラスパイレズ指数は県内の市では最も低く、合併前の平成16年の場合は平均89.2%が21年は92.9%となり徐々に改善されています。今後、市民の理解を前提に適正な給与水準維持に努めます。
②国家公務員の勤務時間は、平成21年4月から1日7時間45分に法律が改正され、本県においても、本年4月実施予定です。市では、行政サービスへの影響や企業の実態なども考慮し、判断していきます。

阿武隈高原スマートインターの早期設置は

質問

①スマートインターの設置はどのように遅れているのか。
②今後の対策は。

回答

①候補地を決め、国土交通省、県当局、また、国家公安委員会等、すべてクリアしましたが、地権者の方々が土地の提供をできないとのことから断念しました。
②現在、他の地域3カ所の費用等を積算しています。一度、国土交通省の計画承認後に断念した経過もあるので関係機関と再調整し、協議を進めていきます。

給食センターの早期着工は

質問

①給食センターの完成時期は。
②着工が遅れている理由。
③緑小学校の給食はどうなのか。

回答 (教育長)

①2月18日の市長報告のとおり、造成工事の完成時期を22年9月末と見込んでおり、本体工事の完成までには1年かかります。
②敷地の地盤が想定以上に軟弱なため、設計の大幅な変更が生じました。
③常葉の学校給食センターから配送します。

視察研修報告

次のとおり視察研修を行いました。
日時 1月21日～22日
場所 神奈川県三浦市

研修項目
・三浦市議会の議会運営等について

研修結果

三浦市議会の特徴的な取り組みは、議会運営委員会とは別に議会運営検討会の設置や議会議員政治倫理条例および同条例施行規程を設け、より良い議会運営、開かれた議会の構築を目指しているところです。

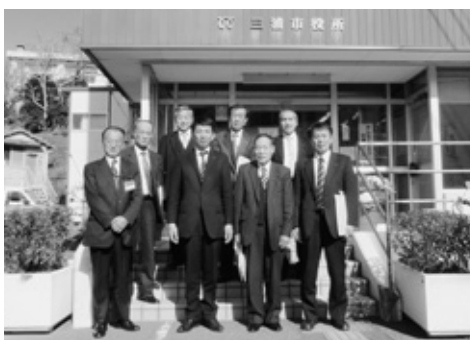
議会運営検討会は、平成11年6月に各会派代表者会議において、「議会運営に関する食糧費、調査研究費、視察、審議会等について検討することが必要ではないか」との意見があり、議員や各会派により提出された事項、議会運営に関する事項について検討・協議する、議長の諮問機関として位置付け、設置されました。

議会議員政治倫理条例および同条例施行規程は、平成11年3月に、公共下水道工事を巡り、入札妨害及び収賄容疑で現職議員が逮捕されたことや平成12年には、現職議員が関係する印刷業者が市から受注する業務の割合が他の業者に比べて多いことが判明し、特別委員会の審査の過程で政治倫理規程の制定を検討することが議長に対し要請され、

先進議会の条例や具体的な事例などを研究し、条例の制定に向け協議が行われました。
この特別委員会で、「議員自らが原点に立ち返り、襟を正して政治倫理条例を制定し、社会の模範となっていかなくはならない」などの意見が多く出されました。

平成15年3月に議会議員政治倫理条例および施行規程が制定され、5月から施行されて以来、在職する議員は就任後直ちに条例第6条および施行規定第3条の規定に基づき第1号様式による誓約書に署名をして議長に提出することとし、改選ごとにこれを全議員が行っています。

条例施行以降は、問題となるような事件は発生していません。
他市ではなかなか設置されていない議会運営検討会や政治倫理条例について本市としても大変参考になりました。



三浦市役所にて

議会運営委員会

委員長 本田 仁一

各委員会活動報告

3月定例会委員会審査

予算常任委員会には、平成21年度各会計補正予算案12件、平成22年度各会計予算案13件の計25件の議案が付託され、原案のとおり可決しました。
主な審査の内容は、次のとおりです。

平成21年度 一般会計補正予算

質疑
旧船引縫製建物の解体規模、また全体計画との関連は。

回答（財政課）

外壁が崩れる危険性のある旧倉庫分約1,740㎡とボイラー室68㎡の計1,809㎡です。解体後、空きスペースは駐車場として活用を考えていますが、あくまで老朽化による部分的な解体となります。

質疑

田村市公共交通活性化審議会の委員構成は。

回答（企画課）

現在27名と考えています。利用者を代表しての市民、

交通事業者（JR、福島交通、タクシー会社等）や国・

県の交通関係者に参加いただき、今後のあるべき姿を検討していきます。

質疑

福島県緊急雇用創出基金事業費補助金の減額は。

回答（商工観光課）

予定していた人数は雇用してきましたが、11名の方が雇用期間中に新たな職場が見つかって就職し、その間に雇用のブランクが生じたため全額消化しきれなかったということです。

質疑

子松神社三匹獅子舞の減額は。

回答（生涯学習課）

子松神社三匹獅子舞保存会の補助金の減額は、後継者不足による解散に伴うものです。

平成22年度 一般会計予算

質疑

財産登記費1,700万円について、未登記物件の全体像と処理ペースは。

回答（財政課）

現時点で未登記件数は2,876件であり、いずれの案件も共有地、共有名義あるいは相続などの理由により時間と労力を費やす見込みのものが残っております。司法書士のかたにご協力いただき年度内に処理できると見込める額を計上しました。

質疑

カーブミラーは、何基くらい設置予定なのか。

回答（生活環境課）

来年度15基を予定しております。

質疑

障害者相談支援強化事業について、委託先が決定しているのか。

回答（介護福祉課）

市役所の窓口で相談業務を行っておりましたが、事業を強化するために、高柴児童館において開設予定の事業所に委託することを予定しております。

質疑

農業振興資金利子補給事

業や優良後継雌牛導入事業を利用するためには、転作への協力が欠かせない条件か。

回答（農林課）

どちらの事業も、転作に協力いただけない方は、対象から外れることとなります。

質疑

生活道路整備事業は、あと何年くらいかかるのか。また、旧町村単位ではどれくらい残っているのか。

回答（建設課）

現在残っている事業は、住宅が2戸以上ある道路として、135路線、事業費で1億8千万円ほどです。その内訳は、大越が15路線で1,650万円、都路が66路線で9,550万円、常葉が16路線で2,050万円、船引が44路線で4,750万円、滝根はゼロですが、現在再調査をしています。滝根、大越、常葉は平成22年度でほぼ完了の見込みですが、都路、船引については、予算の付き具合で事業は流動的な状況です。

質疑

海外派遣研修の選出方法は。

回答（学校教育課）

合併後は、くじによるオープン抽選を実施しています。

質疑

本市のスポーツ少年団の数は。

回答（生涯学習課）

現在37団体、平成21年度登録が、712名です。

平成22年度 国民健康保険特別会計予算

質疑

一般被保険者療養給付費にかかると、現在の被保険者数は何人か。

回答（市民課）

平成22年1月末の被保険者総数は13,763名、世帯は6,610世帯であり、この内一般被保険者は13,007人です。

質疑

退職者被保険者数は何人か。

回答（市民課）

13,763人のうち、756人です。

総務常任委員会

委員長 橋本紀一

3月定例会委員会審査

総務常任委員会には、条例改正案2件、堀田辺地に係る総合整備計画の策定についての計3件が付託され原案のとおり可決しました。

主な審査内容は次のとおりです。

表彰条例の一部改正

本市の政治経済、教育文化および社会福祉等の分野で市政発展に寄与された方や模範と認められる行為があった方を本条例に基づき表彰していましたが、功労表彰は、その選定基準になっている在職期間の規定が明確ではなく、一般表彰の規定を適用していたため、功労表彰についても合併前の在職期間を通算する規定を加えるための改正です。

職員給与に関する条例の一部改正

都路診療所の医師確保対策として、民間病院の給与条件との格差に対処するため医師の初任給調整手当の引き上げを行い、上限を月額「41万9百円」から「51万9百円」に改正するものです。

質疑
この改正で民間病院との平準化が図られたのか。

回答（総務課）

民間との格差に対しては、人事院勧告によりその都度是正を図っておりますが、更に医師確保対策として地理的条件、待遇等を勘案した結果今回の改正としました。

堀田辺地に係る総合整備計画の策定

常葉町の堀田辺地に係る既存計画の期間終了に伴い、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特例措置等に関する法律第3条の規定に基づき、新たに策定するものです。



審査の様子

市民福祉常任委員会

委員長 佐藤忠

3月定例会委員会審査

総務常任委員会には、条例改正案2件、堀田辺地に係る総合整備計画の策定についての計3件が付託され原案のとおり可決しました。

主な審査内容は次のとおりです。

長寿者褒賞条例の一部改正

質疑
100万円から一気に30万円になった背景は。

回答（介護福祉課）

段階的な引き下げも検討したが、生涯1回だけの支給であり、段階的に引き下げをしても年度替わりにより違いがでてくる。褒賞額については県内市町村の状況なども勘案し、30万円で提案しました。

質疑

減額となった財源は、どのような拡充策を考えているのか。

回答（介護福祉課）

介護者手当および介護用品給付券交付事業について、第2号被保険者に対しても拡充して支給するほか、施設介護や在宅介護による介護サービスを全く受けていない在宅の介護者に介護

者手当を増額して支給を考えています。

重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部改正

質疑

肝臓の機能障害を有する対象者は。

回答（介護福祉課）

市内で約17名の見込みであります。

陳情の審査状況

社会的セーフティネットの拡充に関する意見書の提出について「および」多重債務者対策の推進を求める意見書の提出について「はいずれも採択すべきものと決しました。

所管事務調査・視察研修

2月4日、大越こども園建設事業の現況調査と小野町火葬場「おの悠苑」の視察研修を行いました。



現地調査「おの悠苑」

産業建設常任委員会

委員長 筋内 仁一

3月定例会委員会審査

産業建設常任委員会には、条例の改正案3件、条例の廃止案1件、市道路線の廃止案1件、市道路線の認定案1件、の計6件の議案が付託され、原案のとおり可決されました。

主な審査内容は次のとおりです。

請願の審査結果

「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について」は、「働く貧困層、いわゆるワーキングプア解消に向け、賃金底上げを求める世論が高まっていることから、請願の趣旨を了とする。」との意見や「最低賃金の引き上げは、小・零細企業が多い田村市においては、経営が圧迫されて倒産や人員削減を引き起こし、かえって雇用を減らす恐れがあることや、ここ数年引き上げが続いていることから、一概に、引き上げ賛同というのはいかがか。」などの意見が出され、慎重に議論を重ねた結果、「最低賃金は、労働

者とその家族を支える生計費であり、やはり、引き上げと早期発効を求めるべきである。」との結論に達し、「採択」すべきものと決定いたしました。

現地調査

2月25日、市道路線に係る3件についての現地調査を行いました。



現地調査 市道駅前馬場線

文教常任委員会

委員長 石井 忠治

3月定例会委員会審査

文教常任委員会には、条例の改正案1件の議案が付託され、原案のとおり可決されました。

主な審査内容は次のとおりです。

体育施設条例の一部改正

質疑
部活等での使用する場合の減免等は。

回答（生涯学習課）

市教育委員会や学校関係で使用する場合の免除、減免等については現在検討しています。

質疑

1年間の維持費の見込み額は。

回答（生涯学習課）

人件費、光熱費、燃料費、事務職員費、委託費等を含め、約2,900万円を見込んでいます。

質疑

利用促進策は。

回答（生涯学習課）

県の体育協会、種目協会等へ働きかけ、大会などを誘致できるようにします。

委員会の要望

人的配置については、体育施設、多目的広場と施設の規模等も考慮し、責任者は課長相当職が必要と思われるため、委員会として強く要望しました。

所管事務調査

2月25日、大越こども園、市総合体育館、緑小学校の現況を調査するため所管事務調査を行いました。



所管事務調査（緑小学校）

「親として若者を思う時」



田村市都路町
吉田一巳さん

経済不況が長期化し、就職先がまだ決まらない高校、大学卒業者が多く見受けられる中、地元で仕事を求めている希望者には、より厳しい現状が付きつけられています。

私にも3人の子どもがおり、1番上の子が大学卒業を迎えましたが、希望する仕事が見つかっていません。本気で就職活動に取り組んでいるのかと苦言を言い、後で自分自身、親として反省するしだいです。

今の子育てを見ると、親はもとより社会全体が子どもたちに何不自由なく思い込み、いろいろな面で口を出し先走りしてしまい、子どもが自ら物事を考え、自分自身で行動する力を奪ってしまっているように感じます。

あるテレビ番組を観ると、若者が過疎化が進んだ不便な地域住民のために、何かをしてあげるといふ内容でした。若者が住民と接し、自ら悩み、苦しみ、行動し、感謝されたとき、若者の胸に熱い心が芽生えた姿に感銘させられました。

親とすれば安定した収入が得られ、老後も安心できる職について欲しいと強く願っています。でも、人のために何かをし、感謝され、それに生斐いとなる仕事が多くあっても良いと思います。

シリーズ

市民の声

「付き合いの難しさを知る」



田村市船引町
松本キヌ子さん

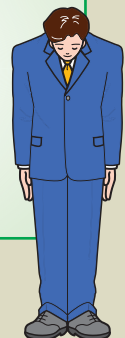
お店を始めて25年、やめて5年が経ちました。夜5時から11時までの短い時間でしたが色んなことを学びました。それは、人と人の付き合いの難しさ、人の気持ちの裏、表などほんの少しだけ分かったような気がしました。

人と人との対話から、私たちの人生の糧となるものが沢山生まれてきました。でも人生は良い事ばかりではありません。夫の病気という自分には考えもなかったことでお店をやめ、早や5年、現在は元気になった夫とお互い、自愛の気持ちで毎日を暮らしています。今までよりも、市政だよりや議会だよりを読む時間も、私たちの生活向上などを考えてくれていることを知り感謝しています。自分も趣味の短歌や俳句で楽しく暮らしていきたいと思っています。

「あじさいの花に埋もれて寺ひとつ」、これは、郡山にある「こおりやま文学の森」で故久米正雄氏の俳号「三汀（さんてい）」にちなみ行った俳句募集で入選した句です。文学の森は私の好きなところですよ。

田村市民の皆さんが普段思っていることや要望などをシリーズとして掲載します。

担当者がお伺いした際にはご協力くださるようお願いいたします。



編集後記

「たむら議会だより」も創刊から今日の21号まで発行し、主に定例会等の内容を中心に議会活動等をお知らせしました。

5月からは議会の構成等も代わり、新たな議会が始動します。

議会における活動内容等を、的確な情報源として市民の皆様にお知らせできるよう「たむら議会だより」を発信しますので、今後ともよろしくお願いたします。

議会広報編集委員一同